

2025 年 5 月 28 日

皆さまへ

公益財団法人 日本テニス協会

専務理事 土橋登志久

有明テニスの森公園

2020 東京オリンピック・パラリンピック記念碑設置 趣意書

【趣旨】

有明テニスの森公園は、日本のテニス文化の発展を象徴する場として、長年にわたり多くの人々に親しまれてまいりました。国内外の大会が“聖地”有明にて開催され、幾多の名選手が熱戦を繰り広げ、数えきれないほどの感動がこの地で生まれてきました。このたび、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの舞台ともなった有明テニスの森公園に、その歴史と感動を永く後世に伝えるべく、「記念碑」の設置を計画いたしました。

【背景】

有明テニスの森公園は、1980 年代より整備が進められ、日本最大規模のテニス施設として、全日本選手権やジャパン・オープンなどの国際大会の舞台となってまいりました。さらに、2020 年東京オリンピック・パラリンピックにおいては、テニス競技の会場として世界中の注目を集め、多くの歴史的瞬間が刻まれました。

こうした意義深い場所に記念碑を設置することにより、テニスの魅力や感動を後世に語り継ぎ、未来の選手や訪問者にとっても誇りと励みとなる場を創出したいと考えております。

【熊谷一弥氏の記念碑（銅像）設立について】

熊谷一弥氏は、1920年にベルギー・アントワープで開催された第7回オリンピック競技大会において、日本人として初めてオリンピック銀メダルを獲得した、我が国スポーツ界の先駆者です。男子シングルスと男子ダブルス（柏尾誠一郎選手とのペア）において2つの銀メダルを手にし、日本にとってのオリンピックメダル第一号という歴史的偉業を成し遂げました。

それからちょうど100年後の2020年、日本は二度目となる夏季オリンピック・パラリンピックを東京で開催し、この歴史的な節目において、日本スポーツ界の出発点とも言える熊谷一弥氏の功績を振り返り、次世代に継承していくことは極めて重要であります。このような観点から、熊谷一弥氏の記念碑（銅像）を、我が国テニスの中心地である「有明テニスの森公園」内に建立し、その偉業を永く後世に伝え、未来を担う子どもたちや若きアスリートたちに、夢と誇りを与える象徴的な銅像と捉えております。

【記念碑の概要（予定）】

- 1、設置場所：有明テニスの森公園内芝生エリアに設置
- 2、形状・デザイン：熊谷一弥氏の銅像（別添参照）の設置、台座製作、彫刻加工、説明板設置を中心とし、台座正面及び横の部分には、東京2020オリンピック・パラリンピックにおける「メダリスト・出場選手・スタッフ」の名を刻印
- 3、除幕式開催日：第100回全日本テニス選手権大会 令和7年10月12日（日）

【ご協力をお願い】

日本テニス連合（日本テニス協会、日本プロテニス協会、日本テニス事業協会、日本女子テニス連盟、テニス用品会）の5団体のご協力を賜り、テニス界を支えてくださる皆様のご理解とご支援により、その輝かしい歴史を次世代へと継承していくことが可能となります。

本趣旨にご賛同賜れます皆様におかれましては、ご支援・ご協力を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。